あなたの心にジャストミート 9 月 22 日メッセージ

この世に必要な人（ナジル人）（士師 13:1-5）

自分はこの世に絶対に必要な人間であり、自分の人生は尊く貴重なものだとわかるなら、自分の人生を大事に思い、成功へとつながるようになるでしょう。どんな人がこの世に必要な人なのでしょうか。まず、この世を維持するのに必要な人々がいます。この世を維持するために神様が役割を与えられて、用いられます。政治家、公務員、医療関係や福祉関係の人、芸術、生産業、製造業、サービス業や教育関係、流通関係、販売業などの人々などなど、さまざまな専門分野があります。とても立派で、大切な仕事であることは間違いありませんが、この世界を維持するための役割だと知っていなければなりません。なぜ維持しなければならないかというと、救われていないたましいが残っていて、神様が救いの計画を進行しておられる途中だから、維持するように神様が許しておられるのです。救いの働きが終わるとき、この世界、社会は終わります。今の世界が永遠に続くかのように言う流れに惑わされないようにしましょう。この世が維持されている目的は、この世を生かすためですが、そのために必ずいなくてはならない必要な人がいます。それは、この世を維持するための人々とは、まったく次元がちがうこの世になくてはならない絶対に必要な人です。それがクリスチャンである私たちです。

私たちは、この世がどういうところなのか、改めて確認しなければなりません。この世はすばらしいところのように見えますが、根本的に神様を離れているところです。根本が暗やみです。それゆえ、人間中心で、永遠の天国、神の国はまったく知らず、霊的ないのちは完全に排除されています。人が神のようにほめたたえられることが良いと思われているところです。なぜなら、空中の権威を持つ支配者であるサタンが、世を支配して、操っているからです。その結果、この世を維持するためにがんばっているのですが、悪魔のしわざに捕らえられているので、自然に霊的な問題をわずらうようになり、心や精神的に病み、肉体的にも壊れ、人生そのものが壊れていくしかないのです。最終的には永遠の地獄に落ち、そののろいが子孫三代、四代まで受け継がれていくのろいの運命の連鎖に捕らわれて生きていくしかありません。パウロは、このような世の中を「罪過と罪の中で死んでいて、生まれながら神の御怒りを受けるしかない」(エペソ 2:1-3)と言っています。そして、生きている間は、空中の権威を持つ支配者に従い、悪魔の作り出した世の流れに、喜んで従っていくしかないのです。偶像崇拝をして、キリストの救い、恵みはいらないという方向に自動的に喜んで進んで行っています。これが世の中であることをしっかりと確認しましょう。

ですから、この世にまことに必要なのは、キリストのいのちです。そして、キリストのいのちが宣べ伝えられる福音宣教こそが必要なことです。この目的のために聖別された人が、この世になくてはならない人です。きょうの聖書箇所に出てくるナジル人は、神様に聖別されて、神様にささげられた人です。いま、この世にはナジル人が必要です。今日の聖書箇所は、良く知られているサムソンの話です。聖なる目的のために神様が特別に子どもを授けられました。この子どもが生まれたら、神様にささげなさいということで、ナジル人のしるしの中のひとつは、頭にかみそりを当てないということでした。神の毛をそらずにのばしっぱなしにするということですが、それは、自分の人生の主人は自分ではなく、キリストが人生の主人だという意味です。自分の思いや脳の働きのままに生きるのではなく、それを支配する頭はキリストですということです。救われるまでは「あなたがたの父である悪魔」(ヨハネ 8:44)と言われているように、自分の思うとおりに動いているつもりでも、実は悪魔の指令のとおりに動いていたわけです。救われた私たちは、悪魔の指令に従う者ではありません。ですから、パウロは「私は十字架とともに死んだ。日々、私は死ぬ」と告白しているのです。神様の恵みによって、悪魔のしわざを打ちこわし、十字架によってすべての罪をきよめられ、すべてを完了されたキリストがイエス様だと信じて受け入れることによって、死からいのちに移り(ヨハネ 5:24)、かしらがキリストに変わりました。イエス・キリストを受け入れると、古いものは過ぎ去り、すべてが新しくなったのです(Ⅱコリント 5:17)。キリストのいのちが与えられ、キリストがかしらになりました。聖霊が宿る神の神殿となり(Ⅰコリント 3:16)、キリストのからだなる教会(エペソ 1:23)となりました。私たちは、からだのそれぞれのパーツですが、頭であるキリストの指令によって、頭がやりたいことを遂行していく存在になったのです。

この世に必要なのは、ナジル人です。ナジル人は、神様が召された者であり、この世を生かすための人生を生きるようになります。イエス様を信じている人は、みんなナジル人です。絶対に必要な存在だと覚えましょう。聖霊が臨まれるとき力を受けて証人となると言われました。ですから、これからは自分の思いをおろして、自分の脳の指令を拒否しましょう。その方法は、神様のみことばに集中することです。脳細胞が神様のみことばで満たされるようになると、みことばが指令を出すようになります。みことばが脳に満たされるようにするため、酸素が足りないと難しいので、深い呼吸、腹式呼吸をするのです。この世を維持するために必要な人とは、次元の違う、この世を生かすために、絶対に必要な人となっている確信を持ち、自負と誇りを持って現場で神様に導かれるように祈ります。

（http://jremnant.com に音声と動画が出ています）

士師記 13：1-5 この世に必要な人（ナジル人）

なるほど/ この世を維持するために必要な人がいて、世を生かすために必ず必要な人がいる。信者は世を生かす必ず要な人として、神様に聖別されたナジル人である。

ならば/ 信者はこの世に必ず必要な人（イエスの証人）という確信と誇りを持とう。自分の考えを下ろして、神様の御言葉で脳が満たされて、キリストを主人として生きる生活を練習しよう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文（2019 年 9 月 22 日）

1 部礼拝 ： 世の終わりの前兆と福音運動（マタ 24：1―14）

絶対に変わらない契約を握って、みことばと祈りで霊的な免疫力を育てて、どんなことも恐れない信仰の人になるようにしてくださり感謝します。三位一体神様と霊的奥義を味わう福音を持った者であることを確信して、霊的免疫力を育てますように。福音が証されるようにすべてを受容して理解して超越する、福音を味わう勝利者になりますように。福音を伝える者として私を召されたために、恐れずに福音だけを伝える者として霊的力を育てますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2 部礼拝 ： 末世の末の教会（マタ 25：45―46）

サタン 24 の人々が世の中を征服したこのとき、138 で 24 させて、世の中を生かすようにしてくださり感謝します。油があるともしびとくださったタラントを持って、羊になって全世界の教会を生かす教会になりますように。この教会の主人はキリスト、神様であることを告白して、正しい主人に仕える教会になりますように。聖霊の満たしとまことの神様の羊として、いのちを生かす準備をする教会になりますように。レムナントを中心に伝道企画チーム、サミット訓練院、癒しセンター、3 企業、237 安息する場所、RUTC、祈りの場所を作りますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。